

○番号は、重点項目

学校経営 ビジョン	重点目標	番号	ゴールイメージ	自己評価	自己評価コメント	評価ポイント	学校関係者評価コメント
性豊かな命と児童の育成を重視し、信頼の根幹に存在し、教職員の一体となつて、努める。体の調和のとれた人間	確かな学力の定着・向上(学びを深める)	①	意欲、できる楽しさ、分かる喜びを体感できる授業	教師	2.9	3.4	○ 児童一人一人の習熟度に応じて、個に応じた手立てを取り、分かりやすい授業がなされていた。 ○ 教師と児童が、しっかりと向き合っており授業が進められていた。 ○ 高学年になると理解度に差が出やすくなるので、それを補うための手立てが必要になる。 ○ 先生方の板書がとても丁寧で読みやすい。
				児童	3.4		
				保護者	3.2		
		教師	2.8	3.3	○ 教師と児童の信頼感があるから、児童が伸び伸びと授業を受けている。 ○ 自分の考えを発言すると同時に、他人の意見もしっかり聞ける児童に育ててほしい。 ○ 聞く(正確に)・話す(相手に分かるように)が定着することが大切である。 ○ 自分の考えを表現できる児童が増えていることは喜ばしいことである。		
	児童	3.2					
	保護者	3.2					
	教師	2.9	3.1	○ 集中して学習に取り組んでいる。集中が途切れそうな児童には、教師の励ましの言葉かけが必要である。 ○ 個別指導は大変だが、常に教師の目配りが必要である。 ○ 深まりのある授業で、おもしろさを感じることができればよい。			
	児童	3.1					
	保護者	2.9					
	教師	2.9	3.1	○ 「学習の手引き」を活用しながら、自学ノートの充実にも努めていることはすばらしい。 ○ 「中学生のノート」が掲示されているのは、児童にとって参考になる。 ○ 家庭での勉強にも常にねらいを自覚させてほしい。 ○ 個に応じた自学の仕方を提示してあげることも必要だと思う。			
	児童	3.5					
	保護者	2.8					
	豊かな心の育成(心を耕す)	⑤	気持ちのよいあいさつ	教師	2.9	3.3	○ 積極的にあいさつする児童が増えてきた。ただ、下校時に声をかけてもあいさつが返ってこない児童がいる。 ○ 教師自ら積極的にあいさつすることは気持ちよいことである。 ○ あいさつの意義を伝えることで、児童のあいさつの意識が高まる。 ○ 廊下ですれ違う児童が、あいさつしたり、目礼したりしてくれ、大変気持ちが良い。
児童				3.5			
保護者				3.1			
教師		2.8	3.3	○ 服装の大きな乱れはみられないが、名札・帽子を忘れる児童が数名いる。 ○ 保護者の感覚に左右される。気持ちは服装に表れるので、その場に合った服装であってほしい。			
児童		3.3					
保護者	3.1						
教師	3.0	3.2	○ 取りかかりが早く、時間いっぱい無言清掃ができています。教師と児童と一緒に掃除をしている姿に感心する。 ○ すみずみまで行き届いた清掃、整理整頓です。 ○ 具体的なトイレ清掃の仕方を知るためのビデオ作成ありがとうございます。				
児童	3.2						
保護者	2.5						
教師	3.0	3.3	○ 児童に対しての温かい言葉かけがすばらしい。 ○ 日頃のコミュニケーションづくりを大切に、保護者とも連絡をとり、信頼関係づくりにも気を配っていることは、「いじめ・不登校児童」の予防につながる。 ○ 信頼関係づくりは難しい課題である。今、親と子の信頼関係ができていないと言われる。				
児童	3.2						
保護者	3.2						
健やかな体の育成(体を鍛える)安全教育の充実(命を守る)	⑨	健康に留意した学校や家庭生活	教師	3.1	3.4	○ 「手洗い・うがい」は、継続的な指導が大切である。 ○ 窓の開閉、うがい・手洗いの励行など、年間を通して活動が児童の健康を守っている。 ○ 家庭も取りこんだ健康管理は、とても大切だと思うので、今後とも継続願いたい。 ○ 学校全体で予防のために取り組む体制が感じられる。	
			児童	3.6			
			保護者	3.3			
	教師	3.0	3.3	○ 児童は、教師と外で遊ぶことを期待しているし、それに応えている教師が多くいることはすばらしい。そのことで、信頼関係も確立される。 ○ 始業前にも元気づけ外で遊ぶ児童の姿は、気持ちが良い。			
児童	3.4						
保護者	3.1						
教師	3.3	3.3	○ 年1回程度でよいので、給食試食会を実施してほしい。 ○ 動植物の命をいっただいで健康な生活を送っていることを知らせ、感謝して食事する児童を育てたい。 ○ アレルギーの児童が増えつつある。教師の配慮が必要だと思う。 ○ 自校でのおいしい給食が、児童への一番のごちそうだと思う。				
児童	3.6						
保護者	2.9						
教師	3.3	3.5	○ 集団登校では一列に並んで登校しているが、下校時は広がって帰る児童が見られる。また、坂道が多いので、自転車の乗り方には注意が必要である。 ○ 危険に対して瞬時の判断ができるようになることが望ましい。それは、生活や遊びの中で小さな心が、小さな心ながら体験しながら身に付けることができると思う。 ○ 長年希望していた通学路に信号機がついた。ついただけでも児童の意識も変わると思う。				
児童	3.7						
保護者	3.2						
家庭・地域と連携した教育の充実(地域とつながる)	⑬	家庭・地域と連携した活動の充実	教師	2.3	3.2	○ 学校から出される「くすのき通信」から学校の様子がよく伝わってくる。 ○ 夏祭りや敬老会などに多くの児童が参加してくれている。 ○ 教師自ら積極的に参加することも負担増になり気になることである。地域の方から協力してもらう体制づくりも大切ではないだろうか。	
児童			3.4				
保護者			3.2				

総評 ○ できた喜びを体感できる授業を展開する中で、自分の考えを表現できる児童が増えていることは大きな成果である。  
○ 学校だよりはすばらしい内容なので、端っこにでも保護者の意見が出るようなコーナーを設けるとよいのではないだろうか。  
○ 経営ビジョンの「教職員の一体化」は、様々な学校行事を参観させていただく中で見て取れました。重点目標では、全てにおいて児童が一生懸命に取り組んでいる様子が伺えます。  
○ 一つ一つの取組を着実に、学校全体で取り組んでいくことが大事なことで、今後とも引き続き継続してもらいたい。  
○ 校内の掲示物、教室等の整理整頓がすばらしい。花壇等きれいで、よい環境づくりができていますので、児童も気持ちよく過ごせていると思う。